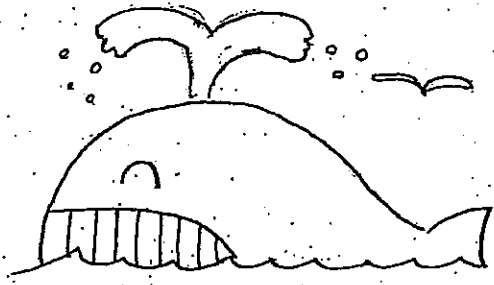


L a L a L a

Library



みなさんこんにちは。7月になりましたね♪

7月といえば、待ちに待った夏休みが始まりますね。

夏休みは夏期講習や部活など人それぞれ大変だと思います。

そんな時はぜひ図書館へ息抜きに来てください！

本にはストレスを解消する効果や、想像力が豊かになるよう

な効果があるので、きっとみなさんの息抜きに役立ってほしい。

『推し、燃ゆ』 宇佐見りん

皆さんには「推し」がいますか？

『推し、燃ゆ』は推しがいる人にぜひ読んで欲しい一冊です。私自身、推しがいるのですが、この本を読んで、また推しへの自分の価値観が変わりました。共感できる部分や、自分だったらどう思うか、と考えられる部分があり、読んでいくうちに引き込まれていきます。この本は『推しが燃えた。ファンを殴ったらしい。』という文から始まります。主人公の高校生のあかりは「まぜまぜ」というグループの土野真琴に会ってからそのまぜまぜに推し界に打ち込んでいき、推しのためにバイトを頑張

『フォルトーナの瞳』 百田尚樹

主人公の慎一郎は幼い頃、火事で家族を失い孤独の身となってしまった。そして、恋人も友人もなく黙々と仕事をする日々を送っていた。そんないつもの通りの日々に過していたある日のこと。仕事帰り電車に乗った時何気なく見ていた男の手がクワすら透けていた。その日から彼の生活は一変した。ある日、仕事を終えた慎一郎は電車に乗ると、その中でシャツとスホーンしか見えないうわゆる“透明人間”をみつけ息が止まる程驚いた。前にも透けた人間と会った事があったがその人が透けていたのは手だけだった。それも見間違っていたかと思っていたさなか、出来事だった。周囲の反応も確認した透明人間に見えていたのは慎一郎だけだった。慎一郎は透明人間が電車から降りるのを見て追いかけるにはいざななながあった。追いかけていた時、青信号が点滅し始め慎一郎は足を速めた。その瞬間シャツとスホーンは空中を数メートル飛び、道路に落ちて鈍い音をたてた。すると突然、透明人間はなにも事故にあつた男の姿が見えるようになった。そして慎一郎は「死の運命」が見えることに気付いた。それから何日かたつたある日、慎一郎は携帯が壊れていることに気づき、携帯ショップに行った。その店の女性販売員の手が透けていることに気付いた。それから彼女の手が気になり何日も携帯ショップによると彼女は除々に透けていった。ある日、また携帯ショップによると彼女は顔まで透けていった。慎一郎は彼女を助たくて、彼女をスタバへと誘った。しかし、仕事後スタバに来た彼女は透けていかなかった。慎一郎は安心して店をあとにした。彼は彼女の死の運命を交えたのだ。その瞬間、彼は胸に激しい痛みを感じた。それが運命を交える代償であった。彼女は、自分が死の運命から助けられたことに気づき、慎一郎を訪ねた。慎一郎は彼女と話ししていくうちに、彼女にふかれていった。慎一郎ははじめて女性と交際することを知った。彼の「死の運命から人を救った」という優しい思いと生死をかけた衝動的なラストに心震える。

このような、生死と運命をめぐる感涙のラブストーリーになっています。2019年には神木龍之介さんと有村架純さんが出演し映画化されました。誰もがひきこまれ感動できる作品だと思います。ぜひ読んでみてください！

て、人気投票の券が封入されているCDを積んで推しに投票して... た「推しが」ファンを殴り飛ばしてしまつたから、人気投票では順位が推しが最下位になってしまつた。1年経ってもアキラが消えなかつた。と、炎上の噂の重大士にあかりはどんな気分を味わっているのか。そして、あかりには学校生活での悩みもあり、遂に学校をやめてしまつた。そのうち、家でも「進学も就職もいらないからお金は出せない」と言われてしまつた。姉が「かっつら」と思いついて、「しばらく休みな」と声をかけ、一人暮らしを提案し、あかりは七転八倒。あかりはあかりの家で一人暮らしを始めるのでした。このあかりとあかりと、あかりの推しである「真琴」という女性についていくなか、あかりの手には取って置けない。